



神奈川県

KANAGAWA

かながわ
こども
まんなか
プロジェクト

#こどもまんなかやってみた

かながわこどもまんなかアクション事例集2025

— 目次 —

①居場所づくり・こども食堂

- ・ [江ノ島電鉄株式会社](#)
- ・ [アイビス](#)

②共生社会（インクルーシブ社会）

- ・ [ウェインズトヨタ神奈川株式会社／
一般社団法人神奈川県自動車販売店協会](#)
- ・ [NPO法人laule'a](#)
- ・ [一般社団法人うるの木](#)
- ・ [株式会社meepa](#)

③こども・子育て応援

- ・ [NPO法人H&K](#)
- ・ [株式会社都実業](#)
- ・ [理究グループ（株式会社理究、株式会社理究キッズ）](#)
- ・ [認定NPO法人びーのびーの](#)

④こども・若者主体のアクション

- ・ [認定NPO法人ミニシティ・プラス](#)
- ・ [株式会社小池設備](#)

⑤体験型等こどもの育ち応援

- ・ [アイパークインスティテュート株式会社](#)
- ・ [特定非営利活動法人みんなのお箸プロジェクト](#)
- ・ [大浩グループ（株式会社大浩）](#)
- ・ [株式会社いかす](#)
- ・ [株式会社meepa](#)
- ・ [株式会社小池設備](#)
- ・ [河西工業株式会社](#)
- ・ [公益財団法人横浜市スポーツ協会
／横浜ゆるスポーツ協会](#)

⑥共働き・共育て

- ・ [パッチワークキルト株式会社
（ハウス食品グループ）](#)
- ・ [原貿易株式会社](#)



#こどもまんなか
やってみた



えのでん・えほんプロジェクト [\(https://www.odakyu.jp/group/brand/article/pickup-007/\)](https://www.odakyu.jp/group/brand/article/pickup-007/)

江ノ島電鉄と鎌倉女子大学のコラボレーションで、児童学部児童学科の学生たちと、江ノ電極楽寺駅旧駅舎で、主に地域の0～3歳のお子さんを対象とした絵本の読み聞かせプロジェクトを毎月最終週の水曜日に実施しています。

取り組みのきっかけ

極楽寺駅の旧駅舎の有効活用を模索していたこともあり、駅社員の「子どもたちのために、駅で何かできることをしたい」という声を基に企画しました。また、地域との連携という側面から、産学連携プロジェクトとして鎌倉女子大学の皆さんと一緒に取り組んでいます。



アクションに対する反応

近隣地域の皆さまに限定したイベントとすることで、保護者の皆さまからは安心して参加できるイベントとして好評をいただいております。また、他に参加できるイベントが少ない0歳児からの参加にも対応していることも喜ばれております。

こどもたちがリラックスして楽しく参加してくれるのはもちろんのこと、保護者の皆さまにとってはコミュニティ作りの場としても活用いただいております。

アクションによる効果

春・夏に実施している「えのでん・えほんプロジェクトスペシャルデー」では、極楽寺駅を飛び出し、地域の子育てセンターや寺院、飲食店などで大規模に開催することで、様々な方にご参加いただけるだけでなく、おもちゃ作りや体操など、プログラムの内容を拡充することで未就学児まで対象を広げ、幅広い世代が一緒になって参加できるイベントとなりました。



江ノ島電鉄株式会社

主な事業：鉄道事業を中心に、自動車事業、レジャー・サービス事業、不動産事業、マイクロモビリティ事業 等

所在地：藤沢市片瀬海岸 1-8-16

HP：<https://www.enoden.co.jp/>

こども食堂ポピー

(<https://wakabatusin.localinfo.jp/posts/56552964>)

若葉台初のこども食堂です。みんなで食べて笑って、幸せなひとときを過ごせる場所です。食事は5種類以上のメニューが入った心温まる定食スタイルとなっています。

取り組みのきっかけ

若葉台にはこどもがたくさんいるにも関わらず、地域にこども食堂がなく、こどもに栄養のある食事を提供する機会が少ない状況で、既に設備が整っている地区センターと、活用できる補助金があったことをきっかけに始めました。



アクションに対する反応

商店街の店舗が減少する中、こどもにとって家族や友達と一緒に食事ができる場所ができてよかったです。ママさんからは、「ポピーがあって助かる」「美味しい」「自分じゃ作れないから嬉しい」と嬉しいコメントをいただいています。ポピーは食育も大切にしています。「こどもによるこども食堂」を目指しております。「私も料理したい!」「食事を運びたい!」と、既にキッズスタッフにも参加してもらっています。

アクションによる効果

ボランティアスタッフとして地域の方に参加いただいておりますが、ほとんどが主婦の方なので調理は慣れっこです。ただ、家とは違って、誰かと一緒にキッチンに立って料理することや、メンバーも毎回少しずつ異なるため、毎回新鮮な経験となっています。こどもの居場所として始めたポピーが、地域の主婦の居場所にもつながっていて嬉しく思います。



アイビス

主な事業：教育、人財育成

所在地：横浜市旭区若葉台 3-4-2

HP：<http://shizuka-web.s3-website-ap-northeast-1.amazonaws.com>

こども食堂
ポピー

小学生向け福祉体験授業

(https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m8u/orihime_collaborate.html)

横浜市・川崎市内の小学生を対象に福祉車両・車いすの体験授業を実施しています。車いす体験授業については一般社団法人神奈川県自動車販売店協会と共催で毎年多くのこどもたちに体験いただいています。

取り組みのきっかけ

「次世代を担う子どもたちに福祉の大切さを伝えたい」という思いから開始しました。若い世代が「自分たちに今・これから何ができるか」を考えるきっかけとなり、他者に対する思いやりの心を持って行動できるようになってほしいとの願いが、取り組みを始める大きな動機となりました。



アクションに対する反応

授業後、学校の先生方から「授業をきっかけに児童たちが福祉についての自己学習を始めるようになった」などのお声をいただいています。また、授業を受けた児童たちがメッセージを送ってくださったり、ご家族とトヨタハートフルプラザ横浜へ足を運んでくださるなど、授業を通じて福祉への興味関心や学習意欲が高まり行動の変容につながっていると感じています。このような反響を受け、活動の意義や、やりがいを深く実感しています。

アクションによる効果

福祉体験授業をきっかけに地域での認知度が高まり、近隣の学校から新たに活動依頼をいただく機会が増えました。現在は、横浜市内の小中学校から正式な依頼を受け、参観日(地域フェス)において福祉車両の仕組みをこどもたちに説明・体験してもらう企画の準備を進めています。今後もこのような地域貢献活動の機会を増やしていきたいと考えています。





ワクワクでつながろう！インクルーシブな遊び場づくり

(<https://www.laulea-linoa.com/>)

体験機会が少ない重度障がい児への機会創出と、インクルーシブ遊具を活用した出張遊び場を運営。障がいの有無に関わらず遊びを通した自然な交流を生み出し、それらが交わることで共生社会の土台をつくる取組です。

取り組みのきっかけ

病院からの「遊具を持って来て」という依頼が転機でした。長期入院している子どもたちに、普段できない揺れや跳ねる体験を提供すると素晴らしい反応があり、これが出張遊び場の始まりとなりました。取り組みが口コミで広がり、インクルーシブ移動遊園地などに発展してきました。



アクションに対する反応

インクルーシブ移動遊園地では「普段できない楽しい体験ができた」「遊具の上で良い顔をしていた」という喜びの声が多数寄せられた一方、「元気な子に混ざって遊びたい訳じゃない。安心して遊べる場がほしい」などの率直な意見もありました。マルシェで行ったイベントでは、話すことができない子が電車に乗って来てくれ、多様な人がいる場に出ることが貴重な経験となり、誰かの視界に入ることによって存在を認識してもらう機会となっています。

アクションによる効果

活動開始から10年で、地域社会に多層的な変化が生まれています。放課後等デイサービスに通う子どもたちと地域の親子が同じ空間で遊ぶ光景が日常的になり、「遊び」を入口とすることで地域住民が障がいのある人を「支援対象」ではなく「一緒に楽しむ仲間」として自然に認識する変化が広がり、真のインクルーシブコミュニティ形成の土台が築かれています。



みんなでのびのび遊べる・つながる場 wacca

(<https://www.instagram.com/wacca1515/>)

障がい児・医療的ケア児、きょうだい児を含むご家族を対象に、横浜市都筑区にある港北幼稚園を貸切にして、家族みんなで公園に行くような気軽な気持ちでお出かけできる場所を目指して月1回、休日に開催しています。

取り組みのきっかけ

主催者家族にダウン症児・心疾患児が産まれたことから、地域の幼稚園や保育園は誰でも入れる場所ではないことを知りました。この子たちが、好きなことを見つけたり、チャレンジできる場所を作りたい、そして保護者の方にはその姿を見て我が子の可愛さ、愛おしさをたくさん見つけて育児の喜びを感じてほしいと思っています。



アクションに対する反応

参加して下さるご家族の中には、障がいや医療的ケア・病気を受け入れられていない方もたくさんいらっしゃいます。そんな保護者の声を聞いたり、ほかの保護者と繋がったり、支えたいと思ってくれるボランティアさんがたくさん集まっている姿を見てもらうことで、少しだけ背中を押せる場所になっているのではないかと感じています。また我が子はこんなこともできたのか?! など新しい発見もたくさんある場所です。

アクションによる効果

障がい児・医療的ケア児・きょうだい児・ボランティアスタッフの子供たちなどが集うので、インクルーシブな場も出来上がっていることに気づきました。こどもたちが、好きなことに夢中になっている姿があるとどこに障がいがあっても誰が医療的ケア児なのか、全く気にならない場所が出来上がります。現在では、全国各地の幼稚園や保育園の皆さんが視察に来てくださる施設となりました。



一般社団法人うるの木

主な事業：障がい児福祉事業・
子育て支援イベント・講演の企画運営
所在地：横浜市都筑区早渕3-35-11
HP：<https://urunoki-gia.com>





障がい児に多様な体験機会を届ける『みーぱのじかん』

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000006.000138559.html>)

社会課題解決を目的とする非営利スタートアップ助成プログラム「Soil x MUFG」に採択頂き、放課後等デイサービスに通う障がいのある子どもたちに多種多様な体験機会を提供する取組です。

取り組みのきっかけ

障がいのある子どもたちの体験機会は、指導者の知識不足や保護者側の遠慮などからさらに限られる傾向にあります。全ての子どもたちが多様な体験を通じて自分の『好き』を見つける機会を平等に得られる社会の実現を目指し、助成金や藤沢市放課後支援事業者連絡会にご協力頂きながら、取組を始めることができました。



アクションに対する反応

毎回、熱中して楽しそうに取り組む子どもたちの姿がみられます。保護者の方からは「新しい環境に戸惑いやすい子どもでもいつも通う施設内での活動は安心して取り組める」「重度の障がいがあると、移動が困難だったり習い事教室が受け入れてくれなかったりして体験機会が限られるが、普段通っている施設内で様々な体験ができることはとてもありがたい」といった喜びの声も頂き、家族みんなが笑顔になる機会になっています。

アクションによる効果

今回の取組だけでも10事業所で、約500人の子どもたちに多種多様な新規体験を提供する見込みがあり、地域の専門人材が活躍できる新たな場が生まれ、地域活性に繋がっています。子どもをまんなかにして、家庭だけでなく地域全体で子どもを支えていく取組になっています。



meepa 株式会社meepa

主な事業：教育・学習支援業（子どもの体験機会提供）

所在地：中郡二宮町二宮884-1 エムビル2F

HP：<https://meepa.io/>

子育て応援団「小松菜プロジェクト活動」(<https://h-k.yokohama/>)

「神奈川県産の小松菜」を中心に「地産地消、環境保全の魅力」を広く周知し、地域活性化に貢献することを目的とした活動をしています。食育や収穫体験などを通じた親子と農家との交流や多世代交流を促進することで、安心して暮らせる街づくりに寄与しています。

取り組みのきっかけ

都筑区が「小松菜」の主要な生産地であることに着目し、神奈川県の高宝な財産である「農作物の周知、地産地消、農業専用地域における環境保全の魅力」を親子を中心とした市民に啓発し、地域活性化、地域への愛着醸成、健康増進に繋げることを目指し活動を開始しました。



アクションに対する反応

農家との協働による「野菜の収穫体験」は今年12年目を迎え、毎回100名を超える親子が参加しています。参加者からは、「子どもが野菜の美味しさを知ることができた」「身近な農業専用地域で自然に触れることの喜びを親子で体感できた」「子どもにとってかけがえない貴重な経験となった」等の声が多数寄せられております。

アクションによる効果

本活動を通じて、子どもたちは野菜畑や自然との触れ合いを深めることができます。また、「子どもたちの楽しい、美味しい、やりたい気持ち」を育み、高齢者や地域の大人も共に活動することで、多世代間の交流が生まれています。



NPO法人
H&K

NPO法人H&K

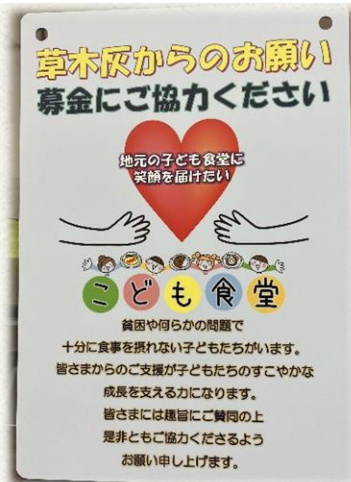
主な事業：親と子のつどいのひろば
所在地：横浜市都筑区茅ヶ崎東3丁目26-2 201
HP：<https://h-k.yokohama/>

こども・子育て支援の為の募金活動

子ども食堂や障がい者支援施設等の現状を知り、弊社の3か所の営業所（茅ヶ崎・厚木・大磯）で募金を実施しており、来社されるお客様にも理解いただき募金をお願いし、各自治体や施設に寄付しています。

取り組みのきっかけ

子ども食堂の現状を知り、企業の社会的責任として何かできることが無いか検討した結果、自社での募金に取り組んでおり、自社の営業所に日々剪定枝を搬入される業者様や無料で提供している草木灰を取りに来られるお客様にも主旨を理解していただき募金協力をお願いしています。



アクションに対する反応

子ども食堂を運営する施設に寄付金を持参すると運営管理者や保護者の方々、お手伝いをしている高校生や利用している子供たちから「ありがとうございます。」と感謝されます。寄付金を持参したときに映した写真を募金箱のところに掲載し、募金していただいた業者様や市民の方々に報告しています。

アクションによる効果

募金活動の主旨をご理解いただき、毎回募金をしていただく業者様も増えております。継続することが大事なことでと痛感しています。



株式会社都実業

主な事業：土木建設工事請負業、公共発生土処理事業、グリーンリサイクル事業
所在地：鎌倉市城廻640-3
HP：<https://miyako-jitsugyo.com>



体験を通じて育む子どもの未来

(<https://riq-gakudou.com>
<https://p-hoiku.com/>)

グループ内の幼児教育実績に基づいた子育て相談・遊び体験・食育イベント（離乳食試食など）を保育園で実施。学童保育では本物に触れる体験として、武道やスポーツ、演劇、自然科学などの専門家を講師に招き、充実した放課後を提供しております。

取り組みのきっかけ

地域の家庭教育支援として保育園での子育て相談・遊び体験を実施していたところ、参加者から「離乳食・幼児食についてもっと知りたい」とのお声をいただき、食育体験イベントを開始しました。「10年後も通って良かったと思ってもらえる学童保育」を目標に、専門家と連携して児童の興味・関心に応えるかたちでスタート。



アクションに対する反応

保育園イベント参加者からは「食育に親子（両親）で参加できるのはうれしい」「早速自宅でも試してみます」「子育ての悩み、疑問などを話すことができる良い機会だった」などの声をいただき、子育て支援の一助ができていることを実感しています。“ホンモノに触れる”プログラムは「体験」「発見」「学び」の要素を含んでおり、体験を通じて子どもたちが自ら動く場となっており、保護者・児童ともに満足度の高い内容です。

アクションによる効果

地域の子育て家庭に、相談できる場所や親子で楽しめる保育園イベントを提供し、地域の子育て支援を続けることで、口コミで参加者が増えています。“ホンモノに触れる”プログラムの体験を通じ、子どもたちは自らテニスを始めたり、生き物に興味を持つなど、「自らが好きなもの」に出会うきっかけになっています。



理究グループ(株式会社理究、株式会社理究キッズ)

主な事業：保育・教育サービス産業

所在地：横浜市神奈川区金港町5-32ベイフロント横浜3F

HP：<https://www.riq.co.jp>

<https://www.riq.co.jp/organization/>



こどもの発達と生活～今どきの小学生、今の小学校の取組～

(<https://www.kohoku-drop.jp/>)

横浜子育てサポートシステムの預かり手への普及啓発を含め、登録している預かり手や子育て世帯に向けて、現役の校長先生をお招きし、小学校の現状を知ってもらう講演会を行っています。

取り組みのきっかけ

横浜子育てサポートシステムの研修内容の一部を一般の方向けにも実施することで、預かり手候補のみならず、地域の方や小学生の子育て中の方など、多様な方に小学校の現状を知ってもらう機会を持てたらと、コロナ禍で学校見学が難しかった頃に企画しました。

アクションに対する反応

いまのこどもたちがどんな風に日々を過ごしているか、校長先生のお話を聞くことで、子育て当事者からも就学への安心感が生まれたと感想をもらえました。また、学齢期のこどもの発達や様子を学べる機会は限られているため、小学生のサポートをしている預かり手の方々からもたくさんの学びがあったとの声をいただきました。

アクションによる効果

市立小学校の校長先生のご理解とご協力の元、100名近い参加がありました。講演会を通して横浜子育てサポートシステムへの理解が深まったことで、小学生の保護者が新たな担い手となってくださり、現在もこどもが学校に行っている間に活躍してくれています。また、校長先生の話をつきかけに「学校支援員」のことを知り関心を持ち、協力して下さった方もいらっしゃいました。

こどもの発達と生活
～今どきの小学生、今の小学校の取組～

学校が大事にしていること、こどもたちを
支えるみなさんに知っていただきたいこと

こどもに「自信」をもってもらうには？
学校での取り組みを中心にお話いただきます。
地域でどんな関わりがあるのか？
みんな一緒に考えてみませんか。

開催日時 11月20日（木） 10:00～11:00
講師 横浜市立太尾小学校 校長 館 雅之先生
会場 港北公会堂 講堂
定員 100名
参加費 無料
対象 提供・両方会員として活動している方、
講演内容に興味がある方など誰でも、こども連れスペースあり。

お問合せ 横浜子育てサポートシステム 港北区支部
045-647-6422（火～土 9～17時）

この講演は「横浜子育てサポートシステム」の提供・両方会員のフォローアップ研修
との合同開催となります。「横浜子育てサポートシステム」は横浜市の事業です。

詳細は「かながわこどもまんなかアクション」にも
登録してください。
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ry/kodocomannaka.html>

予約は
こちらから

QRコード

予約フォーム





ミニヨコハマシティ

(<https://minicity-plus.jp/>)

公募で集まったこども市民が選挙で選ばれた市長を中心に準備会議を行い、数日間のまちを開きます。当日訪れたこどもたちは市民登録し、働いて「ミニヨン」を稼ぎ、遊んだり、買い物したりして過ごします。大人は裏方でサポートに徹します。

取り組みのきっかけ

ドイツの取り組みに感銘し、日本ではじまった「こどものまち」の横浜版として、行政職員や研究者、NPOなどが研究会を作り、2007年から実施しています。以来、毎年実施しており、こどもの主体性を大切に、「自治」「政治・選挙」「経済」「まちづくり」などが盛り込まれたこどものまちづくりイベントです。



アクションに対する反応

運営市民のこどもからは、「こどもだけでつくることが楽しい。一日があっという間」「みんなで選ぶ市長選挙もドキドキした。大人と同じ投票箱に感動した」、当日参加のこどもからは「本物のまちと同じようにこどもだけでお店をやっていてびっくりした。来年は準備の市民になりたい」「大人が入れないのが口出しされなくてよい」、保護者からは「1時間くらいで飽きて戻ってくるかと思ったら、まちに入っていってあっという間に最後までどってこなかった」などの声がありました。

アクションによる効果

小学生から参加していたこどもが大人になり、NPO法人ミニシティ・プラスの会員や理事になって団体を支えてくれるようになり、ミニヨコの先輩としてこどもたちの憧れの「ロールモデル」となっています。ミニヨコでの投票率は80～90%。こどもたちに聞くと「大人になったら必ず選挙に行く」と言い、自分達のリーダーを選挙で選ぶことの大切さを理解しており、まちづくりに関心を持つこどもが確実に増えています。



認定NPO法人ミニシティ・プラス

主な事業：こどもの地域参画推進
所在地：横浜市都筑区中川1-17-22-402
HP：<https://minicity-plus.jp/>



夢講話（Yume Project）

(<https://koikesetsubi.com/blog/blog054.html>)

キャリア教育の一環として、職業講話とキャリア学習を行っています。自分の人生を自分で設計し、デザインしながらマネジメントするマインドを醸成をしています。

取り組みのきっかけ

小池設備の理念は「夢を叶える企業になる」です。「働くこと」はゴールではなく、なりたい自分になるツールの1つと考えています。そのようなマインドを子どもたちに還元し、醸成することで、なりたい自分ややりたいことを叶えられる主体的な力と自走力を育成できるように設定しています。



アクションに対する反応

思考をめぐらし、とても自由な発想がたくさん出てきます。お友達の夢を聞くことで、「それいいね!」「自分もやりたいな」とわくわく感が増えている様子が伺えます。身近な大人である先生にも夢ややりたいことを聞いてみると、それもまた自由で「先生、そういうことがしたいんだね」「できると思うよ!」などいっそう絆が深まり、新たな交流が生まれています。一方的な講話にせず、アウトプット中心で自分自身と深く向き合える時間になっていると感じています。

アクションによる効果

答えが1つでない時代に、自ら課題解決をし、自分で自分の人生をマネジメントできる勇気づけとなっていると感じます。また、お互いの夢ややりたいことを知ることで、応援し合う風土をつくりあげています。ファシリテーターの私達も気づきや得るものが多く、お互いに学び会える環境になっていると感じています。



夢を叶える企業になる



小池設備

株式会社小池設備

主な事業：給排水工事、空調衛生設備工事、上下水道引込工事、水道本管工事、水回りリフォーム、修理

所在地：相模原市南区西大沼 1-18-2

HP：<https://koikesetsubi.com/>

湘南アイパークフェスタ

(<https://www.shonan-ipark.com/iparkfesta2025/>)

湘南アイパークに拠点を置く企業・大学などがサイエンス体験型プログラムを企画しています。サイエンス体験や研究者との交流を通じ、ライフサイエンス分野への関心と学びを促進します。

取り組みのきっかけ

湘南アイパークはライフサイエンスの研究開発拠点として、多数の企業や大学、研究者が集まる場です。最先端のサイエンス体験やアイパーク研究者との交流を通じ、地域の方々、特に子どもたちに科学の面白さを体感してもらう機会をつくりたいとの思いから、2023年からスタートしました。



アクションに対する反応

ぬりぐすりを模したクリームづくりや香水づくり、電子顕微鏡による観察など、“自分の手で体験できる”ことに子どもたちは目を輝かせ、夢中になって取り組んでいました。保護者からは「普段は触れることのない最先端の科学を子どもと一緒に楽しめた」「将来の職業選びの視野が広がった」といった声が寄せられました。学生研究発表会では、発表した高校生・大学生からも「専門家から直接フィードバックをもらえる貴重な機会だった」との声があがり、来場者からも「同世代の挑戦に刺激を受けた」との反応がありました。

アクションによる効果

湘南アイパークフェスタは地域住民と企業・大学がつながる場として定着し、毎年多くの家族連れが訪れる人気イベントとなっています。出展団体同士の新たな連携や、企業・大学が地域貢献の一環としてサイエンス普及に取り組む機運も高まりつつあります。また、学生研究発表会を契機に、他地域からの来訪者も増え、湘南地域における教育・文化の発信力向上にも寄与しています。



アイパークインスティテュート 株式会社

主な事業：サイエンスパーク運営事業

所在地：藤沢市村岡東二丁目26番地1

HP：<https://www.shonan-ipark.com/company/>



おはし探検隊～作って・学んで・伝えよう～

(<https://minnano084.com/event/kodomoad2024/>)

横浜市教育委員会主催「子どもアドベンチャーカレッジ」にて毎年200名の小学生へ、箸の持ち方と文化を楽しく伝える体験講座を実施しています。

取り組みのきっかけ

箸の持ち方は単なる指先の技術ではなく、姿勢や体幹、集中力など、心と身体の発達に深く関わる大切な学びです。そこで、子どもたちが主役となって「つくる・学ぶ・考える」体験を通し、箸文化を楽しく身につけながら、食への自信と日本文化への誇りを育む機会をつくりたいと考え、この取り組みを始めました。



アクションに対する反応

子どもたちが楽しみながら正しい箸の持ち方を身につけ、箸に込められた日本の心と食文化を親子で体験する講座で、自分が使う自分だけの箸をつくる喜びから始まり、体験を通じて子どもたちが“食べること”に自信と興味を持てるよう支援しています。参加した子どもたちは「世界の箸のことを知らなかったし、正しく持つことが大切だと感じた」などと笑顔で話し、ご家庭でも毎日練習を継続しているとの報告や、保護者からは「食事の時間が家族の楽しいコミュニケーションの場になりました」との声も多く届けられております。

アクションによる効果

NPO法人みんなのお箸プロジェクトは、第6期「かながわSDGsパートナー」として神奈川県に登録され、SDGsが掲げる「社会・環境・経済」の3側面において地域に根ざした実践を展開しており、その活動が評価されています。また、伐採された横浜・大岡川の桜を活かすために始まった活動が、今では日本の箸文化を再発見しながら、環境保全や地域資源の循環に寄与する「体験型の箸育活動」へと広がっています。



特定非営利活動法人 みんなのお箸プロジェクト

主な事業：生活文化教育および食育活動

所在地：横浜市栄区小菅ケ谷1-2-1

地球市民かながわプラザ 1階NPOなどのための事務室内

HP：<https://minnano084.com/>

「ネジロボ」活動

(https://www.instagram.com/oohiro_official/)

子どもたちに、ものづくりの楽しさ体験しながら自由な発想も育ててほしいと思い始めた活動です。廃材となる木やネジなどを使っており、環境について考えるきっかけにもなると考えています。

取り組みのきっかけ

子ども達にもものづくりの楽しさを知ってもらうことで、将来の製造業従事者の増加につなげたいと思い、廃棄する配線や不動態在庫のネジ等を活用した「ネジロボ」活動を企画しました。また、多様性や個性を尊重するダイバシティの考えを取り入れ、あえて作り方を決めず、「みんな違ってみんないい」というメッセージを込めました。



アクションに対する反応

同じようなパーツでもそれぞれに仕上がりが違うため、自分だけのロボットができたと感じてもらっています。作品を誇らしげに見せてくれる子どもも多く「自分で作った」ということが「できる」という成功体験になっているのを感じています。保護者は、自分の子どもの豊かな発想やドライバーなどを上手に使う姿を目にし、日常生活ではわからなかった子どものもつ一面に驚かれる方もいます。

アクションによる効果

一般社団法人はてなボックスと協働、相模原市の木材を使用、といった市内企業との異業種連携ができました。ケーブルのカットなど一部の準備は地域の福祉作業施設にも業務委託しています。また、相模原市はロボット特区でもあり「ネジロボ」活動で市内の主要産業に製造業があることを広く知ってもらうきっかけになっているのではないかと思います。



オーガニック農場で農業体験

(<https://icas-organic.co.jp/icas-pick-up/food-education/>)

オーガニック農場で農業体験ができるイベントを月1回開催しているほか、繁忙期には不定期で収穫体験を実施しています。季節の野菜を自分で収穫して食べることで、農業の大切さを実感できます。

取り組みのきっかけ

「未来の地球と子どもたちのために」というメッセージを掲げて、オーガニック農業に取り組む『いかす』では、常に「子どもたちにどんなことができるか」を考えています。その中で、日頃野菜を食べてくださっているお客様から、「子どもたちに農業を体験させたい」というご要望をいただき、2024年からスタートしました。



アクションに対する反応

参加した子どもたちの保護者の方からは、「子どもの野菜嫌いがなくなった」「残さず食べるようになった」といった、食生活の変化が感じられたという感想だけではなく、スーパーマーケットで「そろそろトマトが美味しい季節だね」と、野菜の季節がわかるようになったり、畑の前を通りかかると「これは玉ねぎの畑だ!」と葉っぱで野菜がわかるようになったりと、野菜への関心度が高くなったという話もありました。

アクションによる効果

都市部に住んでいる子どもたちにはなかなか自然と触れ合う機会がない中、比較的アクセスが容易なエリアにある畑で気軽に遊んでもらうことで、日頃から食べている野菜の大切さや地産地消の意義を理解してもらうなど、食糧問題への意識向上に繋がっています。また、スタッフからは「自分たちが育てた野菜を食べて笑顔になっている子どもたちを見てモチベーションが上がった」といった声が出るなど、内外で相乗効果が生まれています。



株式会社いかす

主な事業：農業

所在地：平塚市出縄764-1

HP：<https://icas-organic.co.jp>

子どもに多様な体験機会を届ける『みーぱのじかん』

(<https://meepa.io/service/meepanojikan>)

『子どもの本当の好きに会う』ために、保育・教育施設からお預かりした時間枠に、毎回異なる多彩なプログラムを提供することで、大人の発想に囚われない、多種多様な体験機会を子どもたちに提供する取組です。

取り組みのきっかけ

子どもが一人ひとりにあった本当の好きに会って、幸せな人生を送って欲しい、次の時代を『生き抜く力』を育てて欲しいという想いから、平等に多様な体験機会を提供するサービス『みーぱのじかん』をスタートしました。



アクションに対する反応

普段触れることがないような体験も含め、多様な体験を高頻度で提供するため、子どもたちは初めて挑戦することにドキドキしながらも、講師の話や動きを集中して見聞きし、一生懸命挑戦します。体験後には「初めてできたよ!」「もっとやりたーい」と、保育者や保護者に目を輝かせて話をしてくれます。保護者の方からは、「これまで通り子どもを園に通わせるだけで、子どもが様々な新しい経験を積み、自分にあった好きや得意に出会える機会がつかれる」と特に共働きの世帯のご家庭から喜びの声を頂いています。

アクションによる効果

近年社会課題となっている「体験格差」の解決に繋がっています。保護者だけが子どもを支えるのではなく、meepa、地域の保育・教育施設や講師とともに地域で子どもを支えていく連携ができる世の中になっていければと思います。



株式会社meepa

主な事業：教育・学習支援業（子どもの体験機会提供）

所在地：中郡二宮町二宮884-1 エムビル2F

HP：<https://meepa.io/>



水道管で自分だけのイスをつくろう！ (<https://koikesetsubi.com/blog/blog032.html>)

実際の水道管を使って、配管の擬似作業を体験しながらイスを組み立てていくプログラムです。イスは折りたたみ可能。ものづくりの楽しさと作り上げる達成感を味わうことができます。

取り組みのきっかけ

慢性的な人手不足に悩む建設業界に興味を持ってほしい、ものづくりの楽しさを知ってほしいという思いで企画しました。実際に使用している水道管を使うことで、組み立てていく過程は配管そのものです。子どもたちの自主性を育み「楽しい」「できた」を体感することが狙いです。



アクションに対する反応

「楽しい！」「意外と力が必要だな。」「ここにお水が通るの？」と興味関心を持っています。友達同士で見比べてみたり、実際に座ってみたりして楽しむ様子が見られます。中には何年も家で使っている、という子もいて、こちらもうれしいと感じています。

アクションによる効果

「教える」ことが必然と発生するので、社員は普段やっていることをどう子どもたちに伝えようか頭に汗をかきながら考えています。コツや力加減など言語化することが難しいですが、創意工夫することで今度は現場で若手に教える際に役立っています。また、様々なシーンで私達の行動がお役に立てていることが社内で波及し、次は参加したいと意欲的な社員もいます。学校や団体を中心にお声がけいただくことが増え、需要を感じています。



夢を叶える企業になる



小池設備

株式会社小池設備

主な事業：給排水工事、空調衛生設備工事、上下水道引込工事、水道本管工事、水回りリフォーム、修理

所在地：相模原市南区西大沼 1-18-2

HP：<https://koikesetsubi.com/>



寒川小学校工場見学・寒川中学校職場体験

本社がある高座郡寒川町の寒川小学校の工場見学及び寒川中学校の職場体験の受け入れを行っています。職場体験では、自動車内装部品の工場で、縫製ラインや梱包作業等を体験してもらったり、成形機で部品が取り出されるところを見てもらったりしています。

取り組みのきっかけ

未来を担う小・中学生のみなさんに、普段の生活では触れることのないモノづくりの現場や部品ができる工程を、実際に見て、経験してもらうことで、社会を支えるモノづくりの素晴らしさを感じてもらいたい、という思いから、小・中学校の児童・生徒の受け入れを開始しました。



アクションに対する反応

工場見学に参加した小学生のみなさんからは、「勉強になった」「クルマが好きになった」「どうやってドアができるかわかった」等々たくさんの感想をいただいています。また、職場体験に参加した中学生のみなさんからも、色々な気づきをいただき、それらの一つひとつに、交流させていただいた従業員も元気をもらっています。

アクションによる効果

参加した小学生・中学生のみなさんには、モノづくりの楽しさを少しでも感じていただければと思っています。また現場の社員も、小・中学生のみなさんを受け入れる経験を通して、子供たちの安全確保やわかりやすい説明の工夫等、新しい気づきや学びがありました。これからも、地元の小・中学校の工場見学・職場体験を積極的に受け入れて、将来を担う児童・生徒のみなさんに、モノづくりの素晴らしさを伝えていきたいと考えています。



Kasai 河西工業株式会社

主な事業：自動車内装・外装部品の製造・販売
及びこれに付帯する一切の事業

所在地：高座郡寒川町宮山3316

HP：<https://www.kasai.co.jp/>



ゆるスポーツ体験&スポーツ共創

(<https://yurusports-yokohama.com/objective/>)

横浜市スポーツ協会は、ゆるスポーツの体験と誰もが楽しめるスポーツ創り（スポーツ共創）にチャレンジする授業を提供しています。スポーツが苦手な人や、障がいのある人も一緒に楽しめるスポーツを「自らのアイディア」で創り出し、発表を行います。

取り組みのきっかけ

横浜ゆるスポーツ協会は、2016年に一般社団法人世界ゆるスポーツ協会が設立され、そのフランチャイズとして、横浜の地域に根差したスポーツを開発したいという想いで設立しました。その中で、2019年度から、パラスポーツ普及啓発プログラムの一環として、横浜市の学校に提供し始めたことがきっかけです。



アクションに対する反応

「スポーツは嫌いだけど、ゆるスポーツは好き」、「ゆるスポーツ創りは、色々なことに気づかされた」という感想をくれた児童がいました。また、先生や保護者の方からは、「あの子がこんな活躍をするなんて!」「スポーツ嫌いだったのに?」と驚きの反応もいただきました。創ったスポーツの発表機会では、「自分に自信をつけてくれた」、「頑張っている姿を見ることができて良かった」とコメントしてくださる保護者の方もいました。

アクションによる効果

ゆるスポーツは、5原則の一つに、「社会課題からスタートしている」という原則があります。地域の方とのコミュニケーションを取りたい、高齢の方と一緒にできるスポーツを考えたい、学校の名物を知って欲しい、など、地域課題を設定して取組んでいます。創ったスポーツを地域の方に一緒に体験してもらう機会を作るなど、実際に課題解決にもつながっています。

公益財団法人横浜市スポーツ協会／ 横浜ゆるスポーツ協会

主な事業：サービス業（スポーツ・健康）

所在地：横浜市中区尾上町6丁目81番地

ニッセイ横浜尾上町ビル

HP：<https://www3.yspc.or.jp/>
<https://yurusports-yokohama.com/>



公益財団法人

横浜市スポーツ協会



スポーツ障害を、横浜からなくす。

横浜ゆるスポーツ協会
YOKOHAMA YURU SPORTS ASSOCIATION



忙しい保護者のお助け晩ごはん タスミィ <https://media77006.wixsite.com/tasmee>

タスミィは、保育施設に販売用ディスプレイケースを設置していただき、保護者がお迎え時に、子ども1人前+大人1人前のパウチ入りレトルト惣菜を購入できるサービスです。忙しいお母さん・お父さんの心の余裕を作り、親子と一緒に過ごす温かい時間を少しでも増やすことを目指しています。

取り組みのきっかけ

事業推進者の石井が、妻の第二子妊娠時に120日間のワンオペ生活の中で、仕事・育児・家事とあまりの忙しさに、第一子が通う保育園の園長先生に「保育園の給食を売ってほしい!」とお願いするも叶わなかった経験から、事業を立ち上げました。



アクションに対する反応

保護者の方からは、「保育園のお迎え後に子ども連れてスーパーとか考えられないから、保育園にあると思うだけで心が軽くなる。」「力尽きて作れないとき助かる!!」などのお声をいただいております。導入先の施設の方からは、保育園が専用ECサイトから購入して販売いただく方式をとっているため当初は戸惑われる方もいらっしゃいましたが、「タスミィがキッカケで「今日は何食べるの〜?」など、職員と保護者はもちろん、保護者間でのコミュニケーションがより活発になりました」などのお声をいただいております。

アクションによる効果

常温での保存が可能で、賞味期限も製造から1年以上と長いため、災害時の非常食としても利用いただけます。また保育施設だけでなく、学童施設や事業所などに設置したいといった問い合わせもいただいております。親子の時間をより豊かにできるよう、保護者と子どもの毎日のラストワンマイルとなり得る様々な場所でこれからも取り組みの輪を広げていきます。



社内風土づくりから広がった子育て・共働き応援

(<https://www.harabo.co.jp/sustainability>)

子育てに寛容な社内風土が、社内制度の整備とともに徐々に浸透していった結果、全社をあげて子育てを応援する流れが生まれ、出前授業、子ども食堂への寄贈、子ども基金への協賛など社外へと波及していきました。

取り組みのきっかけ

3人の子どもの父親でもある弊社代表・江守は、会社経営をしながら育児に関わる中で、仕事と子育ての両立がいかに大変か、身をもって体験しました。そして、日々その両立に追われる優秀な社員たちが、キャリアをギブアップすることなく、できるだけ安心して長く働き続けられる環境を作りたいと、社内制度の整備を始めました。



アクションに対する反応

弊社は、女性社員の割合が60%以上、子育て中の社員の割合は55%以上と、比較的高い方かと思います。そうした会社の状況において、仕事と子育て（および介護・通院など）の両立を目的とした社内制度の整備については、助かっているといった感謝の声が多数挙がっています。また、社内制度だけでなく、仕事とプライベートの両立をお互いに許容する社内風土が構築できていることで、実際に子どもの病気などで急きょ休まざるを得なくなった場合にも安心して申請できる風通しのよさがあるといった意見も多いです。

アクションによる効果

子育て中の社員に対して寛容な社内風土の醸成とともに、全社的に子ども・子育てをより広く応援したいと考えるようになり、出前授業や職場見学、子ども食堂などへの寄贈など、取り組みの幅を少しずつ広げてきました。こうした取り組みについても、ありがたいことに感謝のお声をいただいております。世の中のお子さんやご家族により一層喜んでもらえる商品づくりをしようという日々のモチベーションにつながっています。

原貿易株式会社

主な事業：輸出入事業、小売製造業
所在地：横浜市神奈川区松本町4-33-1
HP：<https://www.harabo.co.jp/>

